

令和最初の長野県高山村りんご摘果作業ボランティア&観光旅行スナップ

清水記、写真提供:松澤、大館、清水

日時・場所	2019年5月22日~24日 長野県高山村「宮川農園」&上田市「戦没画学生慰霊美術館」
参加者	松澤、井上、穴井、大館、松崎、佐藤、喜多、中村、阿部、岡部、鶴澤、岡崎、川口、絹川、鯨岡、清水

今年は、過去最多の16名での活動となりました。

3日間共晴天に恵まれ、又、作業内容を従来の「摘花作業」から「摘果作業」に変更したこともあり作業も捗り、お手伝いが出来たと言う達成感も大きく感じました。

諸事情により、今年から宮川宅での宿泊からホテル宿泊に変更しました。

宮川農園さんの負担も減り、当方としても経費は多少増えましたが、参加人数の制限もなくなり、作業後・朝にゆっくりと温泉にも入れ、少人数での部屋割りでもゆっくり出来た等の良かった点も多くありました。



【摘果作業】

今年は、例年より2週間程度遅い時期にして、作業を「摘花作業」から初めての「摘果」作業としましたので最初に宮川さんより作業要領の説明を受けました。



※基本は育ちの良い「中心果」を残して他を全部鋏で切り取り、養分を集中させて大きく育つ様にします。

<摘果前>

<摘果後>



「わいせい樹」は、活動を始めた5年前は背丈ほどの高さだったのに2.5m超と大きく育ちました。



「従来樹」の摘果作業は上向き作業が多く、首が疲れました！

1人作業だと一本完了するのに1日掛かりだそうです！



りんご園での楽しい「ティータイム」

宮川農園では「ブドウ」の栽培もしています。



【宿】

「宿」は、諸事情から宮川宅での宿泊から湯田中温泉の「水明館」宿泊に変更しました。

夕食は「飲み放題」で遠慮なく飲みながらの話が盛り上がりました。

初日の夕食には、忙しい中を宮川ご夫妻も参加して頂きました。

夕食後は、部屋での反省会と称した「二次会」で楽しみ、朝食も準備後始末も必要なくゆっくり摂れました。

※農園迄車で30分程掛かりましたが、夕・朝にゆっくり温泉に入り、3人部屋でゆっくり休めて良かったです。



【信州蕎麦】

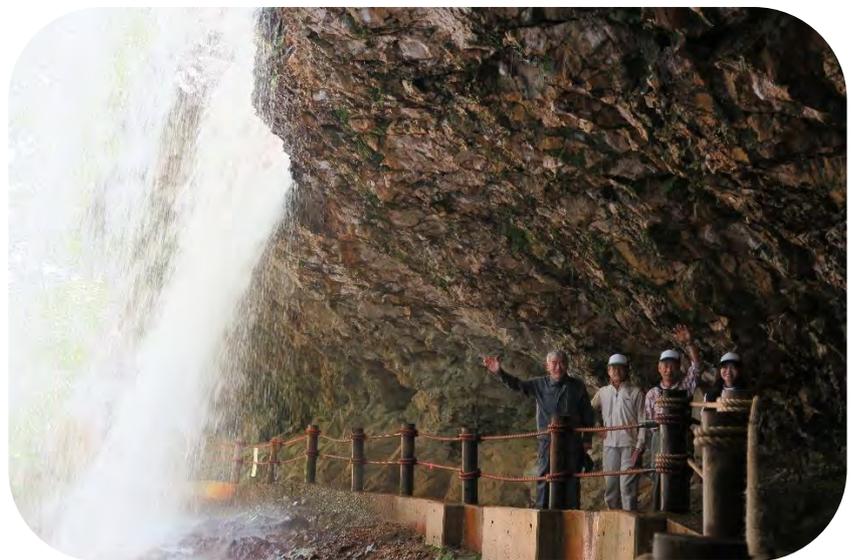
2日目の昼食は、定例の地元「高山亭」で美味しい信州そばご膳を頂きました。



【観光】

■2日目の朝、初参加の方々を中心に、高山村の「雷滝」「八滝」「高井橋」を見物しました。

「雷滝(裏見の滝)」は、雪解け水と前日の大雨で水量が多く見応えがありました



「八滝」は、8 段になって松川に流れ落ちることから八滝と名付けられた。滝の総合落差 180m は、長野県内では 1 位です。



「高井橋」は、四季を通じて松川渓谷に映える赤い橋。松川渓谷の玄関口に位置し、シンボルの存在です。



■最終日の帰路、上田市の戦没画学生慰霊美術館「無言館」を見学しました。

入館前に、美術館の休憩スペースで小布施の竹風堂で購入した「栗おこわ弁当」を食べました。



※初日、2 日目の作業後、松澤さんが色々観光を企画してくれましたが、作業を目一杯行い省略しました。

【24 日は、大館さんの誕生日でした】

竹風堂の休憩室でバースデーソングの合唱とソフトクリームで細やかなお祝いをしました。

※大館さんのソフトクリームは、特大(3 巻きほど盛りが多い)を特注しました！



宮川農園さんには、忙しい中を初日のホテルでの夕食会にご夫婦で参加して頂きました。

更に、休憩時の茶菓子、日本酒&ワイン&ビールの差し入れ及び、りんごジュースと露のお土産等々、大変お世話になりました。ありがとうございました。